

日新製鋼の子会社化などの検討を開始



左 新日鉄住金・進藤社長、右 日新製鋼・三喜社長

新日鉄住金は2016年2月1日、2017年3月をめぐに日新製鋼(株)を子会社化すること、これを前提に日新製鋼に鋼片を継続的に供給することについて検討を開始する覚書を取り交わしました。

鉄鋼業を取り巻く国内外の事業環境が極めて厳しいなか、日新製鋼は国内薄板事業の重点化・強化策と呉製鉄所第2高炉休止を伴う鉄源工程の合理化策を検討するとともに、新日鉄住金に対し、継続的な鋼片供給についての検討を申

し入れていました。両社は協議した結果、厳しい事業環境を乗り越え、競争力のある事業基盤を維持・構築するためには、経営資源を持ち寄り、相乗効果を創出することが必要であるとの認識で一致しました。

今後新たに日新製鋼を加えた新日鉄住金グループとして、総合力世界ナンバーワンの鉄鋼メーカーの地位を強化し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図っていきます。

エコプロダクツ
2015に出展

新日鉄住金グループは2015年12月10(12)日の3日間、東京都江東区の東京ビッグサイトで開催された日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2015」に出展しました。体感型のアイテムを多数展示して、「新日鉄住金グループの3つのエコ」(エコプロセス、エコプロダクツ、エコソリューション)をキーワードに、環境問題への取り組みを紹介しました。

各アイテムを五・七・五調のキャッチコピーでわかりやすく表現し、詳細は説明員とのコミュニケーションで解説するなどの工夫もあり、多くの方々に新日鉄住金グループのブースへご来場いただきました。



岩井常務取締役鋼管事業部長(左から3人目)と受賞者

新日鉄住金の水素ステーション用高強度鋼材HRX19[®]が、2015年日経優秀製品・サービス賞で優秀賞 日経産業新聞賞を受賞しました。耐水素脆性、高強度材料、溶接施工性の3つの特長があり、水素社会の実現に不可欠な水素ステーションの建設コスト削減、保全性・安全性向上に貢献します。



HRX19[®]

日経優秀製品・サービス賞を受賞

世界で最も革新的な企業トップ100社に4年連続で選出

新日鉄住金はトムソン・ロイター(本社・ニューヨーク)が世界で最も革新的な企業や研究機関を選出するTop 100グローバル・イノベーション・アワードで、世界のトップ100社に4年連続で選出されました。4年連続受賞は鉄鋼業では新日鉄住金だけで、長年にわたる研究開発活動および質の高い知的財産創出活動が認められました。



左 新日鉄住金・柳川副社長、右 トムソン・ライター・プロフェッショナル 棚橋佳子取締役



© Yuji Hori
フレッシュアーティスト賞
三浦 友理枝さん
(ピアノ)



特別賞 山田 正幸さん
(ラ・フォル・ジュルネ
金沢音楽祭事務局
チーフ・プロデューサー)

第26回新日鉄住金音楽賞の受賞者が決定

第26回新日鉄住金音楽賞の受賞者が次の方々に決定しました。7月20日に東京都千代田区の紀尾井ホールで、第26回新日鉄住金音楽賞受賞記念コンサートを開催する予定です。

日米友好の絆を深めるハナミズキを植樹

新日鉄住金は、2012年米国ワシントンDCでの桜寄贈100周年記念事業に(公財)新日鉄住金文化財団の紀尾井シンフォニエッタ東京が招聘され、当時財団代表理事だった進藤社長が100周年の祝賀と東日本大震災への米国からの支援への感謝を伝えたことをきっかけに、ハナミズキ・イニシアチブ活動の支援を続けています。

ハナミズキ・イニシアチブでは、今後100年の日米の友好関係を見据え、米政府から日本各地に3000本のハナミズキが贈られています。東日本大震災の被災地である宮城県仙台市へも60本が寄贈され、2015年11月26日に八木山動物公園で行われた植樹式に、新日鉄住金・天谷東北支店長らが出席しました。



『季刊 新日鉄住金』バックナンバー

これまで鉄道、船、橋、缶、車などをテーマに特集を組んできました。QRコードを読み取ることで、バックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.nssmc.com/company/publications/quarterly-nssmc/index.html>